

## 岡山大学医学部医学科・現役合格・

# 合格体験記

N.Tくん

この度、岡山大学医学部医学科に地域枠で合格することができました。

小学6年及び中学・高校の7年もの間、定期テストや学内外で行われる実力テストの結果などに対して小島先生をはじめとする先生方が毎回叱咤激励をしてくださり、また学習以外の面でも何かあれば相談にのってくださったりと日々支えてくださったからこそ今回この結果が出せたのだと思っています。

特に、高校生になってからはKメソ中高生版を開講してくださり、そのおかげで現代文や小論文といった人生で生きていく上で必要となる基礎学力を早期に固めていくことができ、そしてその他の科目も向上させることができました。Kメソは非常に優れたカリキュラムで、実際そこまで国語が得意というわけでもなかった僕が現代文で学年一桁を取れるように、そしてそこで学んだ表現力や考察力を活かして生物のほぼ全ての試験で学年1位を取れるようになりました。

また、僕の受けた地域枠方式は共通テストに加えて志望理由書や面接によって合格が決まりますが、志望理由書や面接の準備をしていく中で、志望理由書などの添削指導をしてくださり、合格を得る上でその効果は絶大なものだったと感じています。

中学受験の時には苦い思いをしましたが、こうして大学受験の場で成功に持っていくことができ、7年間という長い間支えてくださった小島先生には感謝してもきれません。ありがとうございました。(原文のまま掲載)

## 第3回 保護者勉強会

4月15日(土) 11:00~12:00

## 県立中学・中等教育を中軸に据えた合格戦略について

会場:朝日塾宙SOLA (ZOOM 同時配信)  
(ZOOM 録画):①「会場参加」②「ZOOM 参加」  
③「ZOOM 録画」いずれかを選択していただけます。  
会場:定員10名 ※②③のZOOMをご希望の方には後ほどメールにてURL等をお知らせします。

お申込期間:3月22日(水)~4月10日(月)

※①「会場参加」は定員10名になり次第、締め切ります。(趣旨)

岡山県の中学入試は、大きく三つのジャンルに分けられます。①県立中学・中等=4校 ②私立中学=9校 ③岡大附属中 この14校のうち12校(岡白・岡附以外)が適性検査型の入試を実施しています。

つまり、今や県内中学入試の主流は適性検査型に完全移行しています。今年度から県立中・中等の検査問題が統一され、8校の私立中の入試問題もこれに準じてますます「県立シフト」になっています。

では、県立中を第一志望とする皆さんはどのような合格プランを立てればいいのか。今回の保護者勉強会は、時系列を追ってどの時期にどのように対策をすればいいのか、以下の3つの観点から具体的にお話しします。

## 3つの「い」を克服しよう!

「3つの『い』」とはなんでしょう。

**「甘い」** 志望校が現状の成績レベルとかけ離れすぎていることです。仮に「大安寺中教」を第一志望にするのなら、6月と11月に行われる「四谷大塚全国統一テスト」の全国偏差値で57以上は欲しいところです。理由は仮に競争率が4倍だとすれば、25%以内=偏差値56.8だからです。偏差値60であれば6人に1人の位置にいますので、80%以上の合格可能性が出るわけです。 ※いずれも概数です。

**「遅い」** 志望校合格に向けた具体的な取り組みが遅いことです。大安寺中教を第一志望に設定した場合、いくら偏差値が高くても①過去問対策 ②面接対策 ③模試や私立中学適性検査型入試受験 など、合格に向けたリハーサル場数を踏む必要があります。それらの過去問を含め、10年分をやりきるには夏休み明けのスタートでは遅すぎます。

**「疎い」** 志望校の入試情報、出題傾向、面接内容の把握など情報が不足していることです。

- ① 「甘い」の克服について
- ② 「遅い」の克服について
- ③ 「疎い」の克服について
- ④ 上記の他、電話での個人面談も承ります。